

令和5年度 山梨県建築文化賞 受賞作

Yamanashi Cultural Prize of Architecture since 1990



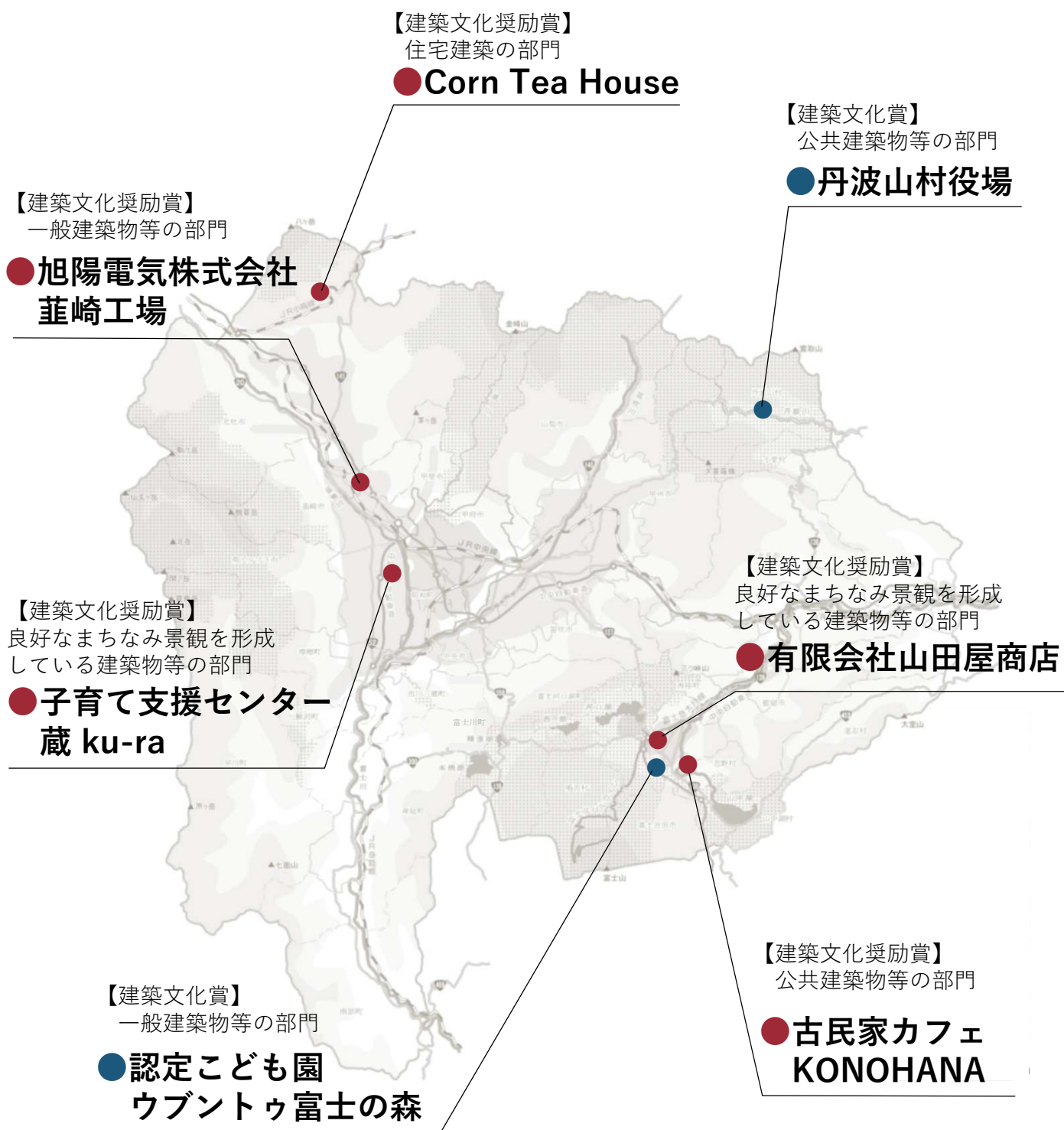
丹波山村役場	認定こども園 ウブントウ 富士の森	
Corn Tea House	旭陽電気 株式会社 葎崎工場	古民家カフェ KONOHANA
子育て 支援センター 蔵 ku-ra	有限会社 山田屋商店	

[主催] 山梨県建築文化賞推進協議会
 (一社) 山梨県建設業協会・(一社) 山梨県建築士会・(一社) 山梨県建築設計協会
 (一社) 山梨県建築士事務所協会・(公社) 山梨県建設技術センター・山梨県

受賞作品一覧表

賞の名称	部門	名称	所在地	建築主	設計者	施工者
建築文化賞	公共建築物等	丹波山村役場	丹波山村	丹波山村	株式会社NHA	太陽工業株式会社
	一般建築物等	認定こども園 ウブントゥ 富士の森	富士吉田市	株式会社 ウブントゥ	株式会社 日比野設計 幼児の城	川上建設株式会社
建築文化奨励賞	住宅建築	Corn Tea House	北杜市	中川 貴裕 中川 すひ	PDO建築事務所	PDO建築事務所
	一般建築物等	旭陽電気株式会社 葦崎工場	葦崎市	旭陽電気株式会社	有限会社 NOA環境設計	大成建設株式会社
	公共建築物等	古民家カフェ KONOHANA	富士吉田市	富士吉田市	川上建設 一級建築士事務所 スタジオ・ベルナ N設計アトリエ	川上建設株式会社
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	子育て支援センター 蔵 ku-ra	南アルプス市	社会福祉法人 ゆうゆう	株式会社 S PLUS ONE 建築設計事務所	甲斐の匠おだぎり
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	有限会社 山田屋商店	富士吉田市	上小澤 隆	N設計アトリエ 建築設計室 アトリエ 風	株式会社 梶原工業所

受賞作品の位置

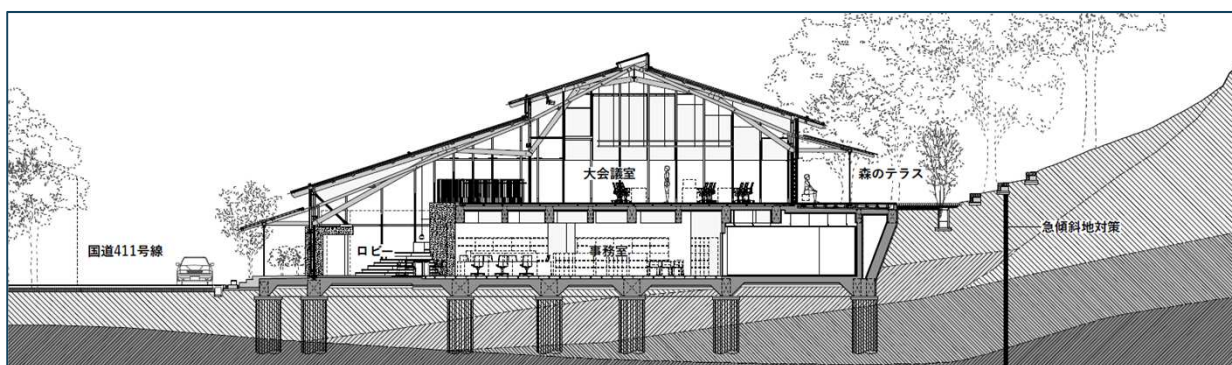


丹波山村役場

外観



Photo : 吉田誠



「見たことのない村役場」をコンセプトに整備された庁舎。

人が行き交う街道沿いにあり、背後に山を背負う急峻な地形を的確に捉えた作品である。

コンクリート、鉄、木と3つの構造材を巧みに組み合わせ、災害に強い庁舎を実現するとともに、カラマツ集成材により細かく組まれた大屋根は背後の山から街道にかけて流麗なラインを形成し、圧巻の構造美を生み出している。建物内部はこの大屋根によって上下2層を丸ごと一つの大空間で包み込み、その中に立てば、まさに「見たことのない」庁舎建築を眼前に突きつけられる。

建築主：丹波山村
設計者：株式会社N H A
施工者：太陽工業株式会社

(所在地)
丹波山村

(用 途)
庁舎

(工事種別)
新築

内観 |



Photo : 吉田誠

関東で一番小さな村の、 みんなの家

村に住む人、山を訪れる人、街道を通りすぎる人、様々な人々が行き交うこの場所に、街道と山をつなぐ、大きな木組みの屋根をかけました。丹波山の大屋根庁舎は、役場機能はもちろんのこと、村の観光拠点であり、子供たちのあそび場であり、お年寄りの集会の場であり、災害時の拠点であり、お祭りの舞台でもあります。用がなくてもふらりと人が集まってくる。あそこにいけば誰かがいる。村のみなさんの家のような役場を目指しています。

一つの空間に様々な機能を持たせる工夫や、地域の生活に寄り添った仕掛けの数々は、多様な人が行き交い、足を止め、交流が生まれる交差点のような庁舎を目指した村の想いが結実している。

村の象徴になることが期待され、それを具現化した本作品は、小規模自治体における新たな庁舎のカタチとして高く評価された。

「関東で一番小さな村」という旗印のもと、多くの人に注目され、訪れてもらい、親しんでもらえる建物となってほしい。

認定こども園 ウブントゥ 富士の森

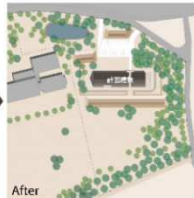
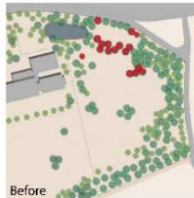
外観 |



Photo : スタジオバウハウス 曾我 俊成

98%の樹木を保護する配置計画

敷地は文化遺産保護区に含まれています。既存の豊かな森の環境を最大限に生かすため、既存の樹木は必要最低限の伐採となるような配置計画とし、98%の樹木をそのままの場所に保護しています。既成の遊具に頼ることなく、子どもたちが自然の要素から自発的に遊びや学びを創造できるような配置計画、外観の計画をしています。



● 今回工事で伐採した樹木



本作品は、前面に富士を仰ぐ広大な敷地に立つ認定こども園である。

敷地内の既存樹木をそのまま残した森には、建設に伴う掘削土を再利用した子どもが遊べる丘を設け、調整池すらも子どもの遊び場としてデザインするなど、既製品の遊具に頼らず「自然の中で全力で遊ぶ」という建築主の教育方針が敷地全体で体现されている。

建築主：株式会社 ウブントゥ
 設計者：株式会社日比野設計 幼児の城
 施工者：川上建設株式会社

(所在地) 富士吉田市
 (用途) 認定こども園
 (工事種別) 新築

内観



Photo : スタジオバウハウス 曾我 俊成

富士の森とつながるダイニング

ダイニングルームでは、窓をあげ放つと季節ごとに変わる風のそよぎ方や光入り方を感じながら、きもちよく食事ができます。また、テラスにはプールが設置されていて、子ども達の遊びに利用するだけでなく、気化熱を利用してプールで冷やされた空気が建物内に取り込まれ、夏場でも自然環境による涼しい環境を作り出しています。



シンプルなフォルムと落ち着いた外観は森に溶け込み、森とのつながりをコンセプトにしたダイニングに象徴されるように、自然環境と保育・教育とが建物を介して見事に融合していると評価された。

ユーザーである先生・園児を計画の中心に据え、豊かな発想をもって使い方を想像・提案した設計者と、その設計意図を汲み見事に使いこなしている先生・園児の姿が象徴的であり、この両者が育む建築といえる。

建築文化奨励賞

住宅建築の部門

Corn Tea House

建築主：中川 貴裕、中川 すひ

設計者：P D O 建築事務所

施工者：P D O 建築事務所



Photo :FOREST松村誠

(所在地) 北杜市

(用途) 住宅

(工事種別) 新築

外観



Photo :FOREST松村誠

動的な日常を想起させるサニタリースペース



Photo :FOREST松村誠

内観

車いす生活を送る建築主が設計に積極的に関わった住宅。

その生活に配慮し、機能性に富む様々な工夫がなされた住宅で、そこでの生活は極めて「動的」である。

自然素材がふんだんに使用され、木のぬくもりに包まれた住空間の中であって、屋外テラスを含めた室内外の連続が、車いすでの日常を動的に彩り、何か楽しそうな日々を想像させる。バリアフリーとは何なのか、その本質を問いかけるような建物であり、障がいに留まらず、高齢社会における住宅建築の在り方にも示唆を与えてくれると評価された。

建築文化奨励賞

一般建築物等の部門

旭陽電気株式会社 葦崎工場

建築主：旭陽電気株式会社
設計者：有限会社NOA環境設計
施工者：大成建設株式会社



Photo : Nacása & Partners 中道 淳

外観

(所在地)
葦崎市

(用途)
工場

(工事種別)
新築



内観

Photo : Nacása & Partners 中道 淳

地域を一望する工業団地に建てられた「地域と人、環境と共にある」という企業VISIONを体現した工場。

目を見張るのは、地域を一望する大開口パノラマを確保した食堂。また、社外に開くことを前提とした保育所を併設するなど旧来の工場建築のイメージを一新した空間・機能の構成は、社員を大切にし、環境に目を向け、地域とのつながりを重視する会社の姿勢が建物に反映されている。

洗練されたデザインの深い軒庇、木と鉄骨による美しいハイブリットラス構造、自然エネルギー利用など、随所に技術水準の高い建築物となっていることも評価された。

建築文化奨励賞

公共建築物等の部門

古民家カフェ KONOohana



工事の様子

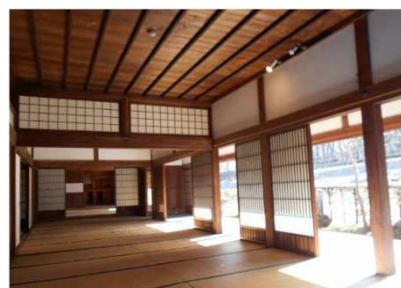
建築主：富士吉田市
設計者：川上建設一級
建築士事務所
スタジオ・ベルナ
N設計アトリエ
施工者：川上建設株式会社



外観



内観



before

(所在地) 富士吉田市
(用途) 飲食店、店舗
(工事種別) 増築、修繕・模様替

本作品は、1983年に御師の宿坊「小佐野家住宅」のレプリカとして復元された建物を、飲食・物販施設として改築したものである。

飲食・物販施設という一般客の滞在利用を念頭に、現在の構造基準への適合はもとより、バリアフリー化や断熱対策など現代技術が随所に取り入れられているものの、内外装の歴史的な設えを保つことに成功している。

建物の歴史文化的価値を明確に伝えるという博物館としての機能を残しつつ、飲食・物販施設としての利便性・快適性をも確保するという命題に対し、多様な工夫をもって対応したと評価された。

建築文化奨励賞

良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門

子育て支援センター 蔵 ku-ra

Photo : 砺波 周平



before

建築主：社会福祉法人ゆうゆう
設計者：株式会社S PLUS ONE
建築設計事務所
施工者：甲斐の匠おだぎり

外観



工事の様子

(所在地) 南アルプス市
(用途) 子育て支援施設
(工事種別) 修繕・模様替

内観



Photo : 砺波 周平

本作品は、江戸時代に建てられた古民家を地域に開いた子育て支援施設に再生したものである。

地域の拠点になることを目指し、古き良き日本の原風景を代表する古民家のポテンシャルを最大限に引き出した建築といえる。近代的な機能性を付加しつつも、洗練されたデザインが建物の持つ往時の記憶と融合し、多世代に受け入れられる施設に再生されている。

子育て支援施設であるとともに、地域住民向けの多目的利用が実現しており、人が集う活力ある地域景観を織りなしているこの古民家継承のあり方は、未だ地域に残されている古民家活用のフラグシップとしても期待される。

建築文化奨励賞

良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門

有限会社山田屋商店



Photo : 名取政明/N設計アトリエ



before

(所在地) 富士吉田市
(用途) 店舗
(工事種別) 移転
修繕・模様替

外観



工事の様子

建築主：上小澤 隆

設計者：

N設計アトリエ

建築設計室 アトリエ風

施工者：

株式会社 梶原工業所



Photo : 小林タクヤ/榎シーキューブデザイン

内観

本作品は、富士講で栄えた御師町において、江戸時代から地域の暮らしを支えてきた商家の再生工事である。

商家に関わる徹底的な歴史調査と研究に裏付けられた空間設計は、建物の歴史的特徴の核となる部分を見極め、それを残し、魅せ、一方で新しい時代の中で生き続けるための新機能を付加し、未来へ確実に継承されるようリビングヘリテージ(Living Heritage) の概念を体現している。

再生前は歴史的な商家の面影が薄らいでいたが、御師町という地域の歴史的景観に溶け込んだ建物として見事に再生を遂げている。

応募作品

令和5年度応募作品

令和5年度募集ポスター

◆住宅建築の部門（14作品）

1. 落合様邸新築工事
2. 宮川様邸新築工事
3. 小瀬の家リノベーション
4. Corn Tea House
5. BARのある家
6. ふうろの家
7. Sliding Water
8. 国母の家
9. 梟寄庵（きょうきあん）
10. UNCAGE.
11. 壁柱の家
12. 古明地邸（KMT新築工事）
13. 八ヶ岳のサロン
14. プリムローズ邸

◆一般建築物等の部門（24作品）

1. にこにこキッズ保育園
2. 山伸マテリアル株式会社甲府支社
3. (仮称)富士河口湖町「旅の駅」新築工事
4. Yske-com本社
5. SECRET DIAMOND
6. 鶴田電気株式会社社屋新築工事
7. AWAUMI 富士河口湖リゾート
8. 山梨大学シミックプラザ
9. hotel nrom.air
10. 竹野博文様増築倉庫
11. 株式会社ササキ本社・山梨工場
12. 見晴亭（MIHARASHITEI）
13. 曹洞宗 白砂山 白元寺
14. 長田組土木新社屋 新築工事
15. 子育て支援センター 蔵 ku-ra
16. 有限会社山田屋商店
17. 株式会社中村製作所本社棟
18. 奥野田ワイナリー
19. 認定こども園ウントゥ富士の森
20. CASA FRUTTA(古谷葡萄園)
-4代続く葡萄農家のフルーツショップ-
21. LaLa mizunosato
22. 暮らしの香り 山中湖アトリエ
23. THMC(Tsuru Humanities Center)
24. 旭陽電気株式会社 韮崎工場

◆公共建築物等の部門（13作品）

1. 丹波山村役場
2. 笛吹みんなの広場
3. 古民家カフェ KONOYANA
4. 山梨県総合農業技術センター
5. 都留市 地域安全ステーション
6. 田原交流センター
7. TABA CAFE（たばカフェ）
8. 富士河口湖町立船津小学校 校舎
9. 中央市立田富北小学校 校舎
10. 広河原山荘
11. 米倉山次世代エネルギーシステム 研究開発ビレッジ（Nesrad）
12. 身延町スポーツ健康増進施設
13. 富士五胡広域行政事務組合新庁舎

※令和5年度山梨県建築文化賞に御応募いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。作品に携わられた皆様に敬意を表し、今後ますますの御活躍を期待しております。



令和5年度山梨県建築文化賞

■目的・選考基準

山梨県建築文化賞は、県内において、快適な地域環境を形成し、景観上又は機能性等に優れた建築物等を表彰することにより、建築文化の高揚を図り、魅力と風格のある文化的で快適なまちづくりの推進を目的とする。

○表彰対象

県内で、過去2年以内に竣工（新築、改築、増築等）した建築物及びリニューアル（建築物の部位の過半の修繕、模様替）した建築物等で次のいずれかに該当するもの。※ただし、重要文化財その他これらに類するものやこれまでに推薦されたものは除く

- ・良好なまちなみの形成、快適な地域環境の創造に寄与しているもの
- ・周辺の自然や建築景観に調和しているもの
- ・地域に根ざした親しみのある建築空間を創り出しているもの
- ・個性と魅力に溢れた新しい建築空間を創り出しているもの
- ・建築技術が特に優れているもの
- ・その他この表彰の趣旨に沿うもの

○部門

- ①住宅建築の部門 ②一般建築物等の部門 ③公共建築物等の部門
④良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門

■選考経過

○募集期間 令和5年7月～8月

○応募作品数

- ①住宅建築の部門14作品 ②一般建築物等の部門24作品
③公共建築物等の部門13作品 合計51作品

※良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門については、部門として募集せず3部門の応募作品の中から賞の趣旨にかなうものを表彰

○第1回審査委員会（令和5年9月）〔書類審査〕

設計コンセプト、設計図面、写真等からなる応募資料をもとに、審査委員による書類審査・協議の結果、13作品を選考。

- ①住宅建築の部門4作品 ②一般建築物等の部門4作品
③公共建築物等の部門3作品 ④良好なまちなみ景観を形成している建築物等3作品
（他部門と重複1作品）

○第2回審査委員会（令和5年10月）〔現地審査〕〔最終選考〕

第1回審査委員会で選考された作品を審査委員により現地で審査・総合的な協議の結果7作品を選考。
建築文化賞2作品 建築文化奨励賞5作品

○表彰式（令和5年11月）

建築主、設計者、施工者に表彰状と記念品を授与（建築主には、記念銘板を併せて贈呈）

■審査委員（50音順／敬称略／◎は委員長、○は委員長代行）

菊地淑人（山梨大学准教授）、杉本弘子（画家）、○田中勝（山梨大学教授）、土谷芳仁（建築士）、保坂博司（画家）、◎八木幸二（東京工業大学名誉教授）、若狭美穂子（建築士）

■表彰実績（第1回～第32回〔平成2年度～令和5年度〕）

応募数：2,608点

受賞数：建築文化賞56点 建築文化奨励賞147点 審査委員会特別賞1点 計204点